

APRSAF-26 水ロケット大会

日本代表選考 実技審査について

2次審査では面接と、事前に各自で製作・持参した水ロケットを打ち上げる実技審査が行われます*1。実技審査は以下の要領で実施されますので、準備の参考にしてください。

水ロケット本体について

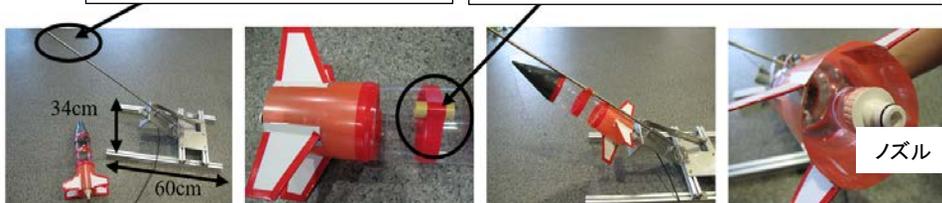
チームで**2機以上**製作して持参してください。材料や形は自由ですが、ランチャーへの装着のため、以下の点を考慮してください。

- ランチャーは1.5Lまたは2Lペットボトルサイズの水ロケット用です。審査当日に、水ロケット本体のフィンとフィンの上にガイド棒を通すための部品（ガイドパイプ）を装着していただきます。フィンやプラスチックなどでペットボトルの口が隠れないようにしてください。（ガイドパイプとノズルはJAXAで準備します）

ご参考

ガイド棒: 直径 1cm, 長さ 90cm

ガイドパイプ: 直径 1.5cm, 長さ 4cm, 重さ 4g



水ロケット打ち上げ実技審査について

- 審査方法は**50メートル先の目標点にできるだけ近く着地させる定点実技**となります。**飛距離を競うのではありません**。安全上の理由により**空気圧は最大で5 bar**とします。

※上記要領は国内予選のみに適用されるものであり、本大会（国際大会）の競技ルールでは目標点への距離、空気圧の最大値が異なる場合があります。

*1 悪天候などにより実技審査が行えない場合は、別の審査方法に切り替えます。

問い合わせ先： APRSAF水ロケット大会事務局
JAXA宇宙教育センター
ap_wre_edu@ml.jaxa.jp